



**VJU**  
Vietnam Japan University  
VNU since 1906

## 【日越大学メールマガジン Vol.20 2019年1月号】

日越大学は、日本とベトナムの両政府により、両国の友好と結束の象徴として新たに設立された大学で、2016年9月にベトナム・ハノイで開校しました。現在修士課程に2期生82名、3期生80名の学生が在籍し、共通科目の日本語と英語の習得に加え、地域研究(MAS)、企業管理(MBA)、公共政策(MPP)、ナノテクノロジー(MNT)、環境工学(MEE)、社会基盤(MIE)、気候変動・開発(MCCD)の各専攻プログラムを勉強しています。



また、2018年に入学した第3期生には、ミャンマーから2名、ナイジェリアから4名の計6名の外国人学生も入学し、国際大学としての第1歩を歩み始めました。

### 【今月のトピックス】

#### 1 日越大学ニュース

##### 参議院 ODA 調査団来学

1月9日(水)に参議院 ODA 調査団として、以下の方々が日越大学にお越しになりました。

- ① 岩井茂樹 議員(自民党) 団長
- ② 秋野公造 議員(公明党)
- ③ 斉藤嘉隆 議員(立憲民主党)
- ④ 矢田わか子 議員(国民民主党)
- ⑤ 岩波祐子 参議院内閣委員会調査室主席調査員
- ⑥ 大柳涼 参議院決算委員会調査室調査委員

また、在ベトナム日本大使館から公使、担当書記官、JICA ベトナム事務所長が同席されました。当日は、古田日越大学学長から、日越大学の概要説明をおこない、その後、質疑応答がおこなわれました。

各議員の方々から、「日越大学の自立性について」、「日本から派遣されている教員に対する大学側の評価、指導効果について」、「日越大学の優位性について」、「日本の大学との文化交流について」、「卒業後の学生と企業のマッチングについて」等々、的確な質問と共に、日越大学に対する今後への期待と発展に対する激励のお言葉を頂戴しました。

その後、講義風景、施設等、日越大学キャンパス内をご見学いただきました。



1月23～24日にハノイのパンパシフィックホテルにおいて、「第4回 International Forum on Sustainable Future in Asia」が開催されました。本フォーラムは、日本の国立環境研究所(NIES)によって主催され、日越大学環境工学プログラム、東京大学サステナビリティ学連携研究機構およびアジア工科大学院アジア太平洋地域資源センターが共催をおこない、それぞれの研究成果をアジアに向けて発信するとともに、各国の研究機関・大学等との研究連携を強化することを目的に、アジアを中心とした各国の専門家による講演および全体討論を行い、アジア地域の環境問題の解決と持続可能な未来のために今後進むべき方向について議論をおこないました。

また、古田元夫日越大学学長に、「日越大学と持続可能な開発」について基調講演をおこなって頂きました。様々な国から様々な経歴を持つ約150名の研究者がフォーラムに参加し、口頭およびポスターによるプレゼンテーションを通して研究成果を共有することができました。なお、フォーラムに参加した研究グループの中からVJUメンバーが最優秀ポスター賞を受賞しました。



#### ミャンマーにおいて、2019年学生募集説明会を開催

1月26日、27日の日程で、昨年につき、ミャンマー日本人材開発センター(MJC)に協力を頂き、ミャンマーにて日越大学の学生募集説明会を行いました。

今年も昨年同様、ヤンゴンとマンダレーの2か所で開催し、昨年を上回る60名の参加がありました。昨年は、日越大学が初めてミャンマーで説明会を行うとあって「学生の父親」の参加が目立ちましたが、今年は父親の姿はなく若者が多く参加しており、日越大学の魅力を直接伝えることができました。

また、説明会では、昨年9月に入学した第3期生のミャンマー出身の現役生のひとりが現地で参加、他1名は日越大学と現地をTV会議システムでつなぎ、それぞれ日越大学での学びや体験、ベトナムでの暮らしなどについて参加者に伝えて頂きました。

昨年よりもよりリアルな情報を提供することができ、説明会後のアンケートでは、応募に関心のある学生が多く回答していたことから、今年もミャンマー出身の仲間が増えることが期待されます。



## 2 2018年インターンシップを振り返って

昨年から今年にかけて、第2期生の日本でのインターンシップがおこなわれました。

そこで、今月号から3月号にかけて、日本でのインターンシップを終えた学生の声をお伝えします。今月は、ナノテクノロジープログラムの Ta Thi Luong さん、環境工学プログラムの Dang Trung Hieu さんの声をお伝えします。

なお、掲載に際して、学生の感想、インパクト等を尊重し、原文のままに掲載していますので、宜しくご理解の程お願いします。

### 【ナノテクノロジープログラム】

(1) Name of program: Master of nanotechnology

Name: Ta Thi Luong

(2) Time of internship: from Oct 1 to Nov 30, 2018

(3) Internship site: Graduate School of Engineering, Osaka University, Suita Campus, Osaka, Japan

(4) Internship activities:

We began our journey to Osaka on a sunny day. Japan from the first impression is a beautiful and modern country; it is hard to imagine that a few days before a strong storm swept through this place. From the first surprise, we started writing our own experiences, which I believe are valuable to each of us not only for academics but for life as well.

As an engineering student, we spend most of our time in the lab. And to understand and learn how to the Japanese do and master their research, there is no way to be more effective than working with them in the same lab. I really enjoyed working time at lab, herein, something is very special the atmosphere of effort and consistency with scientific love.

Every week, we have lab seminars for the members of the group to present and discuss with their research. Each master student or Ph.D. student must present their research progress before the others at least twice a year. We, who are newcomers, are also required to have a talk about our previous study in this seminar. Besides, students usually have discussions with their professor once a week about their recently obtained results as well as their new gained knowledge.

These discussions have helped me a lot to understand deeply my work, more importantly, through these precious talks, I also was learning the way to find problems and solve problems toward creating valuable results in research. The image of the professor working from morning to late in the lab made me understand that in science, there is no secret of success other than the diligence and the enthusiasm.

In addition, we also have an opportunity to have a direct interview with several Japanese businesses in order to find out what Japanese employers look for in the candidates. Since then, each of us will have a clearer strategy to achieve our goals.

Besides academic activities, we also have unforgettable experiences in exploring Japanese culture, nature, and cuisine. It is hard to choose the most impressed one among all the kindness, dedication, and discipline of the Japanese, the bustling crowds of Dotonbori or the autumnal beauty of Kyoto. At this moment, I am thinking of an experience of mine on the train. A mother and a 5-year-old boy boarded the train when there were no seats available. I stood up and gave my seat to the baby but the mother just thanked and refused... Maybe those small things have created an admirable Japan where full of independent and resilient people today. Hereafter is a picture show our joyful moment at first time seeing Momiji in Osaka.



#### 【環境工学プログラム】

私は、環境工学プログラムの Dang Trung Hieu と申します。

私のインターンシップは、2018年9月20日～11月18日の期間で、主に北九州市立大学（University of Kitakyushu City）で行いました。インターンシップでは、有機廃棄物をメタンガスや肥料に変える嫌気分解について勉強しました。また、研究以外では、「ありがとう」という他人に対する感謝の気持ちや、計画立案時におけるチームワークスキルについても、私が学んだ重要なことでした。

更に、今回のインターンシップの経験を通して、将来、私は、固形廃棄物・排水処理分野専門家になりたいと思います。また、日本滞在中に一番印象に残ったことは、日本の美しい景色と日本人の仕事に対して取り組む姿勢と礼節を重んじる心でした。

最後に、このインターンシップに関わったすべての関係者の皆さんに心から感謝します。どうもありがとうございました。



#### 4 今後の主な予定、行事

- ✦ 2019年2月2日～10日                   ベトナムテト休暇
- ✦ 2019年2月23日                        日越大学オープンキャンパス

#### 5 日越大学からのお知らせ 大学臨時休校について

ベトナムの正月休暇（テト休暇）に伴い、本校も2月2日～10日までの期間、休校となります。関係者の皆様方にはご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、ご理解とご協力の程、宜しくお願いします。なお、2月11日（月）からは、通常どおり業務をおこないます。

## 2019 年入学試験日程のお知らせ

日越大学修士課程第 4 期生の募集が始まりました。

昨年は、初の外国人留学生の入学があり、また、今年も日本人大学院生の長期インターンシップを受け入れるなど、学生支援体制も少しずつですが、整備されてきました。

経済発展著しい、熱気あふれるベトナムでの修士課程留学に興味関心をお持ちの方がいれば、是非、募集案内をお知らせください。受験から渡航、就学、卒業まで、現地日本人スタッフが間に入って、サポートしてまいります。

一次試験 出願締切：2019 年 3 月 18 日（月）

試験日程：2019 年 3 月 22 日（金）～4 月 1 日（日）

（インターネット面接可。日程や試験項目の詳細はプログラムによって異なります）

二次試験 出願締切：2019 年 7 月 19 日（金）

試験日程：2019 年 7 月 22 日（月）～31 日（水）

（インターネット面接可。日程や試験項目の詳細はプログラムによって異なります）

入試情報 URL：<http://admission.vju.ac.vn/>



### 【お問い合わせ先】

日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会

Tel: +84 (0) 247-306-6001

E-mail: [mail.magazine@vju.ac.vn](mailto:mail.magazine@vju.ac.vn)

日越大学 HP <http://admission.vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook（ベトナム語） <https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?fref=ts>

日越大学 Facebook（日本語） <https://www.facebook.com/jicavju/>

JICA HP <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

### 【メール配信停止・変更】

本メールマガジンの配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、お手数ですが、日越大学・日越大学修士課程設立プロジェクトメールマガジン編集委員会 [mail.magazine@vju.ac.vn](mailto:mail.magazine@vju.ac.vn) までご連絡頂ければ幸甚に存じます。